

魚津の教育

魚津市教育センターだより166号

令和3年12月 発行

魚津市教育センター

魚津市村木町1-21

〒937-0053 TEL(0765)23-9161

「学びと育ちをつなぐ幼児教育を目指して」

大町幼稚園 園長 松原 仁美

給食後の自由遊びの時間、「今からすみれ組でバーベキューをします。よかったら来てください。」と年長組から年中と年少の教室に声がかかりました。行ってみると、ボール紙や色画用紙、毛糸を食材に見立て、段ボール箱で作られたコンロで、炭焼きパーティーが開かれていました。本物そっくりの焼きそばや野菜、肉を盛り付けてもらい、子供たちはおいしそうにパーティーを楽しんでいました。



園での子供たちは、テレビで見た聖火リレーを真似て「リレー遊び」をしたり、自分の好きなキャラクターになりきって「〇〇ごっこ」を楽しんだり、好きな動物や乗り物を折り紙やブロックで作ったりと、自分が体験したことや見聞きしたことを遊びに取り入れ、五感を働かせて遊びを工夫しています。互いの思いを伝え合い、アイデアを出し合い、いろいろと試行錯誤しながら遊びを広げていきます。鉄棒やなわとびの上達を目指して真剣に練習に取り組む姿、見つけた草花や虫の名前を進んで図鑑で調べる姿も見られます。そして、このような子供の主体的な遊びや活動を支えているのは、教職員の教育的な働きかけと見守りです。子供の興味・関心を引き出し、遊びが充実するように、子供の思いに寄り添いながら意図してさりげなく環境を整えています。小さな成長を見逃すことなく「上手になったね」「すごいね」「すてきね」などの肯定的な声かけをしています。

幼稚園で勤務する機会をいただき、「園児はこんなにしっかり話が聞けるんだ」「こんなこともできるんだ」と感心することが多々あります。純粋で真っ直ぐな子供たちとの関わりを楽しみながら、教職員からたくさんのことを学ばせてもらっています。

幼稚園教育要領には、「幼稚園教育において育みたい資質・能力」が「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で明確化されています。また、幼稚園と小学校とが連携を図り、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続に努めることも示されています。幼児期を預かる私たち教職員は、幼稚園教育が小学校以降の生活や学習の基盤となることを念頭に置き、「幼児期にふさわしい教育」の質の向上を目指して、日々の実践を積み重ねることが大切であると考えます。幼稚園での学びや育ちが小学校での学習へと無理なく引き継がれていくように、園児と児童の交流、教職員同士の交流や研修等をどのように進めていけばよいか、幼稚園の保育の様子や園児の姿を小学校の先生方に知っていただくにはどのような方法があるのか、連携の在り方を模索しながら取り組んでいかなければならないと感じています。

私自身は幼児教育の初任者ですが、小学校教育を経験した自分にできることを誠実にを行い、園児一人一人の成長を見守っていきたいと思います。

「教員になって」

西部中学校 はままつ 濱松 はやと 隼人

今年度の4月より、西部中学校で教員生活をはじめました。私が教員になろうと思ったきっかけは、富山県で教育に携わり、高校時代にお世話になった2人の先生(数学の先生・剣道部の顧問の先生)に恩返しをしたいと思ったことです。数学の先生は、計算が速く、字が綺麗で、解説がとてもわかりやすい方でした。圧倒的ともいえるその数学力に憧れ、自分もこんな風に格好よく数学を教えたいと思いました。顧問の先生は、当時とても生意気だった私に、やさしく部活の指導をしてくださっただけでなく、進路の相談や、勉強との両立の相談を親身になって聞いてくださいました。私も、生徒が憧れるような先生になれるように……とっておりますが、悪戦苦闘の日々を過ごしております。



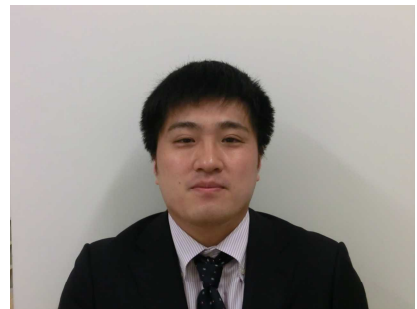
中学校の教員として働いて半年が過ぎました。あっという間でしたが、思い返してみると、様々な経験をし、濃い時間だったように思います。授業や普段の生活で生徒たちとふれ合う中で、「そうぞう力」が非常に豊かだなと感じています。「この値を代入してみてもどうだろうか」、「このグラフの先はどうなるのだろうか」、「この言葉を言ったら相手はどう思うだろうか」など、様々な場面に「想像」する力。それに加え、「今の学級の欠点はこれだからもっとこうしよう」、「今年の体育大会はこうしたい」、「学校にこんなルールがあったほうが良いのではないか」という、自分たちのより良い生活を求めて「創造」しようとする力。生徒たちがその「そうぞう力」をさらに伸ばしていくことができるような環境を作っていけるよう、私自身努力していきたいと思っております。

まだまだ分からないことだらけで、多くの先生方に助けていただきながらですが、新しいことを避けるのではなく、積極的に挑戦する毎日を生徒たちと共に楽しみたいです。

「半年たって」

西部中学校 ながもり 永森 ゆうき 勇希

西部中学校に着任してから、はや半年が経ちました。高校での講師経験があったものの、初めての中学校、初めての担任ですから、最初はどうもよくないことや分からないことが多く、目の前の仕事をこなすことで精一杯でした。そんな不安を抱えていた私に、生徒たちは、気さくに声を掛けてくれました。学校のことや魚津のことを教えてくれ、とても嬉しく感じました。その時に私も、心温かくしてくれた生徒たちのために、授業や部活動指導など自分ができることに精一杯取り組もうと思えました。



今は、生徒が主体的に取り組む授業を目指して、日々試行錯誤をしています。最初の頃は、生徒の考えを引き出すことができず、私が話をしてばかりの一方的な授業になってしまっていました。現在は、初任者指導教員の方や先輩の先生方にアドバイスをいただきながら、生徒に考えさせ、意見を引き出すことができるような課題設定や教材研究、ICT機器の活用等に取り組んでいます。最近の授業では、生徒が課題解決に向けて、生徒同士での話合いや課題解決に対する予想の根拠となる資料を探し、論理的に説明する力を身に付けさせる授業を実践することが少しずつできていると感じています。

まだまだ、未熟な部分が多いですが、生徒一人一人と向き合いながら、生徒と共に学び、共に喜びを分かち合うことができる教師を目指したいと思います。また、先輩の先生方の姿をみて、日々学び続けていきたいと思っております。

「先生としての目標」

星の杜小学校 おおぎ や げん き 扇谷 元基

私が「先生」と呼ばれるようになったのは4年前のことだ。東京のはずれ、しがない四年生大学を卒業したばかりの私は、教員試験に落ちていたので職が決まっていなかった。富山に帰ってきて早々にアパートを契約したものの、まだ家の中は空っぽだった。教育委員会からは「臨任講師の当てが決まり次第連絡します。」と聞かされていたが、まだそれもない状態だった。来月の家賃をどうしようか、そればかり考えていた。しかし、その一週間後には黒部市立宇奈月小学校で「先生」と呼ばれていた。たくさんの児童と時間を共にした。たくさんの先生から仕事を教わった。そんな日々の多忙さで「先生としての目標」なんて考える暇はなかった。



私は今、4回目の担任をしている。慌ただしい毎日は昔と変わらない。この原稿依頼が来たので今までの教員生活を振り返ってみて驚いた。今年から教諭としてスタートした私だったが、いまだに「先生としての目標」というものが定まっていけないのだ。私はどんな先生になりたいのだろうか。「勉強を教えるのが上手な先生」、「規律を守るクラスをつくることのできる先生」、理想の先生を思い浮かべてみても切りがない。もちろん、そんな先生にはまだまだなれそうにもない。まずは「2時間目後の大休憩までは頑張るクラス」を目標にやってみよう。それが軌道に乗ってきたら「給食までは頑張るクラス」だ。これぐらいだったら私でも辿り着けそう。だとすれば、そのためには何が必要だろうか。やはり「楽しさ」だろうか。何事もつまらないものは時間の過ぎるのが遅い。楽しいことはあっという間だ。ということは「笑顔」も必要になってくる。人は楽しいときに自然と笑みが溢れるものだ。私は笑顔が得意ではない。表情を表に出すことが苦手だ。でも、せめて児童の前だけは笑顔でいよう。私の、少なくとも今年度の「先生としての目標」は「クラスに入ったら笑顔になろう」である。

「担任の先生から学んだこと」

星の杜小学校 にしむら みゆ 西村 幸柚

私が教員になろうと思った動機は、小学校の3年生のときの担任の先生との出会いにあります。私はその先生から2つのことを教えていただきました。

1つ目は勉強の面白さです。算数のかけ算の筆算の学習をしていて、私は何度も間違えてしまい、筆算に対して苦手意識を持ち始めていました。しかし、担任の先生は私の様子を見て、根気強く教えてくださいました。私が諦めずに筆算に取り組んでいる様子を笑顔でクラス全体に紹介し、褒めてくださったのでとても嬉しかったです。自分の力で正解できたときは、喜びの気持ちでいっぱいになり、私は算数をもっと好きになりました。そして、「勉強を教えることが仕事」の教員になってみたいと思うようになりました。



2つ目は「自立」することの大切さです。3年生に進級後、先生は私たちに「自立した人になりなさい。」というお話をしてくださいました。私は「自分で考えて行動する、自分のことは自分です」とはどういうことかを子供ながらに考えて生活するようになりました。例えば、「家に帰ったら自分で明日の準備をする」、「忘れ物をしないように確認する」、「次の授業の準備をする」といった基本的なことです。家族に頼ることもありました。先生の「自立」という言葉を思い出し、自分の力でできるようになろうと頑張りました。3年生の終盤に、先生から「自立」できるようになったと褒めていただき嬉しかったです。私は勉強だけではなく、内面の成長を支えてくれる先生に対して憧れるようになりました。

私は担任の先生のように、勉強が好きの子や自立する子を育てることができるようになりたいです。そのために、児童が少しでも「できた!」と喜び、笑顔になれるように日々の教材研究、授業に努めていきたいです。また、3年生の児童らが成長することができるよう、具体的にどのような行動を目指していけばよいのかを日々粘り強く示していきたいです。

友達との関わりを大切に

魚津市立清流小学校

子供たちにとって学校の楽しさとは、友達との関わりではないでしょうか。学校に来ると大好きな友達に会えるという思いは、子供たちにとって何よりも大きな活力を与え、豊かな心を育てる源と言えます。コロナ禍で、人との関わりが制限される中、本校の子供たちは工夫しながら友達との関わりを楽しんでいます。そこで、本校の取組を2つ紹介したいと思います。

【挨拶運動の取組】

まずは、挨拶運動です。コロナ禍前は、ハイタッチをしながら「おはようございます」という元気な声が響いていました。しかし、ハイタッチができなくなり、子供たちの元気な声も寂しくなった時期がありました。そこで、学校さわやか委員の子供たちが立ち上がり、「元気な挨拶をもう一度」という思いをもって方策を一生懸命に考えました。それが、「離れてハイタッチ挨拶」の取組です。棒に手のイラストを取り付けて、それにタッチしてもらいながら挨拶をする活動です。言葉だけではなく、心の触れ合いを感じながら挨拶ができるようになりました。

そこに6年生の愛校活動としての挨拶運動も加わり、現在では毎朝の元気な声が戻りつつあります。

【「ぽかさわの木」の取組】

次に、「ぽかさわの木」という取組です。これも、学校さわやか委員の子供たちが提案しました。1学期は、友達からかけてもらってうれしかった言葉や友達の優しい行動を葉っぱの形の紙に書いて、「ぽかさわの木」に貼っていくものです。学年毎に「ぽかさわの木」を作りましたが、あっという間に木があったかい言葉の葉っぱでいっぱいになりました。子供たちにとって友達との触れ合いや励まし合いがいかに大切であるかが分かる取組となりました。

また、友達を認める心が育っていることも再確認させられました。2学期は、自他のよさを実感できるように、自分と友達の親切をサクランボが描かれた紙に書いて、ぽかさわの木に貼っています。今後も友達を大切にするとともに、自分の優しさにも気付き、今まで以上に好ましい人間関係を築いてくれるものと願っています。

【まとめ】

新型コロナウイルスの流行、感染防止等で、「新しい生活様式」が叫ばれています。人との関わり方にも新しい様式が生まれています。学校での子供たちの関わり合いは、教育の「不易」といえます。これからも友達との関わりを通して、多くのことを学び、毎日、笑顔でいてほしいと願います。本校では、これからも子供たち同士の関わり合いを大切にしたい教育活動を進めていきたいと考えています。



離れてハイタッチ挨拶



6年生の挨拶運動



ぽかさわの木 パート1



ぽかさわの木 パート2

■富山県教育委員会派遣内地留学 教員カウンセラー養成事業

■期間:令和3年4月1日～9月30日 場所:富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センター

「内地留学を終えて」

東部中学校 谷内 恵理子

今年度、富山県教育委員会より教員カウンセラー養成事業として内地留学の機会をいただき、4月から半年間、富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践総合センターにおいて心理学やカウンセリングについて研修させていただきました。

大学では、教育相談や臨床心理学、生徒理解、カウンセリング等の講義に参加して知識を深め、視野を広げることができました。心理学的な側面から理解が深まったり、新たなアプローチの方法を知ったりすることができ、たくさんの新たな発見や気づきがありました。これまで勤や経験に頼りがちだったことを反省すると共に、自らの勉強不足を痛感しました。また、ゼミでは、大学生と意見を交わし、彼らの熱心な姿に刺激を受けました。

個人研究は、以前から関心のあった「境界知能」をもつ生徒について調べました。異校種間交流で特別支援学校に3年間勤務した際、支援が必要な生徒とじっくり向き合いながら過ごしました。近年、教室の中でも特別な支援を必要とする生徒が増え、どのように手立てを講じていけばよいのか試行錯誤を繰り返していました。困難を抱える生徒のニーズに応じたより良い支援のヒントを掴むことができればと思い、研究しました。文献研究やIQとQ-U等の調査結果との相関の分析、聞き取り調査を行いました。低いIQをもつ生徒は、学業成績だけでなく、生活全般においても困難を抱えやすいことが分かりました。また、調査の中で、IQよりもワーキングメモリが学業成績に影響することが分かったので、その容量を測定する課題を作成して実際に測定し、データの分析を行いました。ワーキングメモリ容量は個人でばらつきがあり、容量が低い生徒は、授業の中で適したツールを用いるなど環境を整えることで負荷を軽減することができるため、有効な支援の工夫を図りたいと思いました。

学習に困難を抱える生徒への支援の在り方を、心理学やカウンセリングの理論やIQ、ワーキングメモリとの関連を踏まえて、これまでの自分自身の取組を振り返ったり、見つめ直したりすることができました。

まだまだ学び足りないことがたくさんありますが、心理学やカウンセリングを改めて学ぶことは大変意義深いものでした。また、これまでの教員としての立ち振る舞いを見直す時間をいただけたことを大変ありがたく感じています。今回の内地留学で学んだことを今後の教員生活につなげていきたいです。



■第58回 魚津市小・中学校科学展覧会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、予定されていた第58回魚津市小・中学校科学展覧会の一般公開が中止となり、審査会のみで開催となりました。

くふう創作の部、研究調査の部、標本・模型の部の3部門に、市内各小学校から53作品、中学校からは10作品の出品がありました。日常の生活の中から興味をもったことや疑問に感じたことに目を向けて継続的に研究を進めている作品が多く、仕上がりが丁寧で、より多くの人に見せることができなかつたのが残念でした。

◇ 魚津市教育委員会賞・富山県科学展覧会「中学校最優秀賞」受賞



イメージ画像です。

なかむら まさき
中村 昌樹
西部中学校 1年

テ
ー
マ

ラムネ笛からオリジナル笛を作る Part 1

所見 ラムネ笛の音を変える要素について、様々な実験を積み重ねて調べる項目を検討し、その影響を調査しました。笛に送る空気の量や風速を制御するための自作装置と、条件を様々に変えた笛を製作し、音の測定を根気強く繰り返しました。データ処理や考察の的確さは驚嘆に値します。今後もさらに安定した大きさや高さの音が出る条件を見出し、オリジナル笛の完成を目指してほしいです。

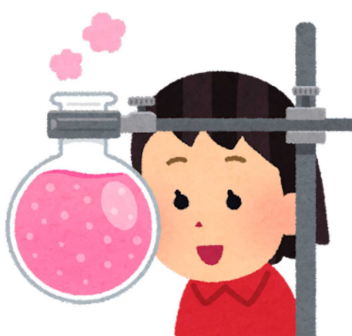
声 お菓子の「ラムネ笛」を食べていた時、穴の大きさや材質を変えると音も変わるのではないかと考えたのが研究を始めたきっかけです。

地道に実験を繰り返し、音の変化に影響を与えるのは笛の「空洞の大きさ」、「穴の開いた板の厚み」であると分かりました。

最初は実験が思うように行えず苦労しましたが、諦めずに続けることでさまざまな新しい発見が得られました。

今後も粘り強く研究し、これまでにない新たな楽器を作りたいです。

◇ 魚津市教育委員会賞・富山県科学展覧会「研究努力賞」受賞



イメージ画像です。

みやもと かな
宮本 佳奈
星の杜小学校 6年

テ
ー
マ

炭に簡単に火をつけるには？

所見 身近な経験から疑問に思っていた課題について、理科で学んだ知識を土台にしながら実験を進めていきました。より正確なデータがとれるように基準を明確にし、段階を踏みながら実験を進め、さらに出てきた疑問についても予想を立て、新しい実験を行い、考えを広げていきました。次にバーベキューをするときは今回の研究を生かしておいしい焼き肉が食べられそうです。生活の中から生まれた楽しい研究でした。

声 家でバーベキューをするとき、着火剤がないと炭に火がつきにくく毎回苦労をしていたので、身近なものでかんたんに火をつけるにはどうすればよいかを調べました。

研究の結果、火がつきやすい素材、その必要量とちょうどよい形、うちわや扇風機で空気を送り込む必要性などの最適な条件を見つけました。

研究で理科の学習を生かすこともできてうれしかったので、これからもいろんなことに興味をもって取り組んでいきたいです。

◇ 魚津市教育委員会賞・富山県科学展覧会「研究努力賞」受賞



イメージ画像です。

のぶ やま ゆう と
延山 悠人
道下小学校 3年

テ
ー
マ

とう立歩行5歩、
がんばるぞ！

所見 映画のワンシーンをきっかけに「倒立」に興味をもち、昨年度までの「三点倒立」「倒立」の研究を発展させました。「体重のかけ方」「手ぶみ」「歩行」の三つの練習に取り組み、毎日記録を取りながら考察しています。また、倒立の際に体が傾くという自分のくせへの対策を練りながら、地道に研究を継続しています。

声 『スターウォーズ』の片手でとう立をしているシーンを見て、「ぼくもやってみたいな」と思い、どうしたらとう立ができるか研究しました。1、2年生で、三点とう立とう立のコツを調べ、今年はどう立歩行のコツを調べました。この3つの技に共通することは、「おなかとおしりに力を入れる」とことと「手ーかたーこしを一直線にする」とことでした。コツも分かり、とう立も上手になってうれしかったです。もっとおもしろい技の研究と練習に挑戦してみたいです。

◇ 科学展入選者のみなさん ◇

氏名	学校・学年	テーマ
やまぐち りん 山口 凜	清流小学校・1年	なつのむしかんさつ
なかがわ ゆうせい 中川 雄惺	よつば小学校・2年	アリのすきなたべもの大ちょうさ
こうじたに しゆんいち たいし 翹谷 隼一・泰至	道下小学校・3・2年	こおろぎはどんなときになくの？
おおさき ののか 大崎 野々花	道下小学校・3年	家族みんなでけんこうチェック
よしだ みはる 吉田 実暖	道下小学校・3年	どこでもかさ立て
うら もえか 浦 萌華	道下小学校・5年	香りについて調べよう！
つじむら なおき 辻村 尚暉	清流小学校・5年	ワンタッチキレラップ
いしさき こう 石崎 煌生	清流小学校・5年	たくさんほせるゾ～！
よこた こういち 横田 晃一	経田小学校・5年	カブトムシ・クワガタムシの研究
いしかわ てんが しんら 石川 天雅・心羅	よつば小学校・6・4年	蝶
さわやま ゆうか 澤山 優香	清流小学校・6年	ろうそく長持ち大作戦！
みなと や ゆうか 湊谷 優花	西部中学校・1年	酵素の力 Part 2
ぬきわ いちか 貫和 一花	西部中学校・1年	カエデの種子の研究 Part 2
いはら らな 伊原 蘭奈	東部中学校・2年	風力発電について調べよう
あるが こうへい 有賀 康平	西部中学校・3年	イセエビ (Panulirus japonicus)

※入選者の作品は魚津市教育センターのHP(<http://www.uozu-c.tym.ed.jp> 各種事業>科学展覧会)でご覧になれます。

■第42回 北信越中学校総合競技大会

8月3日～5日にかけて富山県内各地で、第42回北信越中学校総合競技大会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大のため開催自体が危ぶまれましたが、大会関係者の熱意と努力により滞りなく行われました。魚津市内の中学生も県選手権大会を勝ち抜き出場権を得て、全国大会を目指して、当日は熱戦を繰り広げました。

◇ 水泳競技 200M自由形 3位入賞 〈記録 2分12秒76〉



写真はイメージです。

伊^い田^だ 愛^{あい} 東部中学校 3年

声 8月5日に富山県高岡総合プールで北信越大会水泳競技が行われました。私は、個人で100M自由形と200M自由形の2種目、そして400Mメドレーリレーに出場しました。今まで1年生の時にリレーで「北信越」に出場したことはありましたが、個人種目で出場することは初めてでした。

「北信越」出場までの道のりはとても長かったです。新川地区大会では標準記録を突破し、県選手権大会に出場することができました。「県選」では、各地区大会を勝ち抜いた選手の中から上位3人が、「北信越」に出場できます。

去年はコロナ禍のため「県選」が中止となったので、今年の「県選」が個人種目で「北信越」に出る、最初で最後のチャンスになりました。このチャンスを絶対につかみ、「北信越」に出場したいという気持ちはここにいる誰にも負けないくらいに高まりました。

一番得意な200M自由形予選から始まりました。掲示板に貼り出された決勝のスタートリストの中に自分の名前を見つけたときは、とても嬉しかったです。決勝では、一人ずつ名前がコールされ、モチベーションが高まった状態でスタート台に立ちました。無我夢中で泳ぎました。ゴール後、自分の名前が2位でコールされました。心の中で何回もガッツポーズをしました。その勢いで100M自由形とメドレーリレーでも「北信越」の出場権を獲得しました。

北信越大会は屋外プールで、しかもとても暑い日でした。「今まで練習してきたことを発揮しよう」と自分に言い聞かせていました。この大会は「タイム決勝」で行うため、レース後、結果が出るまで緊張して待ちました。200M自由形の結果発表になり、3番目に私の名前が呼ばれました。表彰台に立った瞬間、今までの辛かった数々の練習が思い出されましたが、全て吹き飛ばすくらい嬉しかったです。

メドレーリレーもみんなの力で繋(つな)げることができ、とてもよい形で終わることができました。「大会」を開催してくださった皆さんと私を支えてくれた家族、コーチへの感謝の気持ちを忘れず、これからも自分との戦いである水泳を続けたいと思います。

◇ 水泳競技 100M背泳ぎ 7位入賞 〈記録 1分09秒59〉 200M背泳ぎ 7位入賞 〈記録 2分29秒85〉

西^{さい}塔^{とう} 柚^{ゆず} 琶^は 東部中学校 2年

◇ 陸上競技 3年女子100M走 8位入賞 〈記録 12秒82〉

濱^{はま} 元^{もと} 咲^さ 帆^ほ 西部中学校 3年



■第59回 富山県総合選手権大会 結果

◇ ソフトボール競技 1位

東部中学校

内生蔵 真白 富居 向日葵 高島 来歩 古金 美紅 高瀬 星沙 仲俣 美羽
濱田 光佳莉 窪田 綾乃 大坪 紗来 岡本 向日葵 尾谷 いえ菜
岡本 佳実 常楽 優香 内生蔵 虹佳 武田 芽愛梨 監督 水島 智美

◇ 卓球競技 男子団体 3位

西部中学校

石川 大 吉村 康佑 坂口 卓生 荒地 海瑠 大澤 壮慶 尾崎 永和
濱多 佑杜 池田 幹太 監督 関口 健 マネージャー 保要 有理

◇ 陸上競技

3年女子100M走 1位 〈記録 13秒00〉
共通女子200M走 3位 〈記録 26秒67〉

濱元 咲帆 西部中学校・3年

◇ 水泳競技



女子400Mメドレーリレー 3位 〈記録 4分58秒87〉

東部中学校 (伊田愛・遠藤美月・伊原蘭奈・浅野遙名)

男子50M自由形 1位 〈記録 26秒14〉

舘 賜樹 東部中学校・3年

女子100M背泳ぎ 2位 〈記録 1分10秒93〉

200M背泳ぎ 2位 〈記録 2分31秒58〉

西塔 柚琶 東部中学校・2年

女子200M自由形 2位 〈記録 2分13秒29〉

100M自由形 3位 〈記録 1分01秒09〉

伊田 愛 東部中学校・3年



■令和3年度 新川地区中学校新人大会 結果

◇ 大会の記録 (団体1~3位、個人1位のみ)

陸上競技

共通男子1500M走 1位 高森 はる(西部)4分19秒71
共通男子3000M走 1位 高森 はる(西部)9分28秒70
共通男子砲丸投 1位 籠瀬 柗音(東部) 9m53

女子総合 3位 西部 47点
2年女子100M走 1位 本田 緋七鶴(東部) 13秒76
共通女子走高跳 1位 山本 なるみ(西部) 1m35

水泳

男子団体 1位 西部 65点
男子50M自由形 1位 吉村 清人(西部) 26秒39
男子100M自由形 1位 吉村 清人(西部) 57秒48
男子100M背泳ぎ 1位 吉村 清人(西部) 1分09秒64
男子100M平泳ぎ 1位 堀地海彩己(西部) 2分02秒75
男子200Mメドレーリレー 1位 西部 3分01秒70 (宮野、山本、吉村、堀地)
男子200Mリレー 1位 西部 2分36秒68 (堀地、山本、宮野、吉村)

女子団体 1位 東部 39点
2位 西部
女子50M背泳ぎ 1位 西塔 柚琶(東部) 32秒06
女子100M背泳ぎ 1位 西塔 柚琶(東部) 1分09秒31
女子50Mバタフライ 1位 稗島 悠來(西部) 35秒56
女子200Mメドレーリレー 1位 東部・西部 2分23秒15 (西塔、稗島、伊原、貫和)
女子200Mリレー 1位 東部・西部 2分07秒58 (伊原、稗島、美谷、西塔)

◇ 大会の記録 (団体 1～3位、個人 1位のみ)

ソフトボール

1位 東部

卓球

男子団体 1位 西部
 シングルス 1位 尾崎 永和(西部)
 女子団体 3位 西部

剣道

男子団体 1位 東部
 女子団体 3位 東部

バレーボール

女子 1位 西部
 3位 東部
 男子 2位 東部
 3位 東部・西部

軟式野球

2位 東部
 3位 西部

サッカー

2位 西部

バスケットボール

女子 3位 西部

ソフトテニス

男子団体 3位 西部

バドミントン

男子団体 3位 西部



■魚津市教育センターからのお知らせ

魚津市教育センターには、日頃の教育指導のヒントになる資料、教材、視聴覚機器があります。ぜひご活用ください。
 HP (<http://www.uozu-c.tym.ed.jp>)

■防災教育 DVD教材



『命を守る! 避難の3原則』
 —釜石の奇跡に学ぶ—

第2巻:小学生編 第3巻:中学生編

東日本大震災から10年がたった今改めて必要な「防災教育」のための教材。「防災の知識」と「避難の3原則」が身に付く。「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」の3原則が、釜石の小中学生の命を救った。これは巷間言われている「奇跡」ではなく、長年取り組んできた「防災教育」の成果だったという。一方、石巻市大川小では、児童74人教職員10人が犠牲になった。どちらも当日は校長が不在であったが、明暗が分かれた。『止まった刻〜検証・大川小事故』岩波書店刊を併せて読むと、防災教育の必要性と方向性が見えてくる。

■いじめ問題 DVD教材

「見上げた青い空」(文部科学省選定)

いじめ防止対策推進法の成立のきっかけとなった大津市立中2男子生徒の自殺から10年たった。昨年11月町田市立小6女子児童がいじめを訴える遺書を残して自殺した件、今年の2月酒田市立中2女子生徒が学校から投身自殺した件、3月旭川市立中2女子生徒が凍死した状態で発見された件など、対応が問題となっている事例が相次いでいる。いじめを初期の段階で発見し、対応しなければならない。

■プログラミング教育

「先生のためのプログラミング教育教材集」

小学生が、プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けるための教材集。本来、PCで行うプログラミングを紙のカードを使って体験しながら論理的思考が身に付けられるようになっている。なかでも算数科教材「正三角形をプログラミング」は「誤り」があると「正しい結果」にならないことを知る最適な教材である。